

- ① **憲法九条を世界遺産に** ②太田光・中沢新一 著 ③集英社新書
 ④日本国憲法とは、米国人と日本人の奇蹟の合作だったとし、今日、その輝きを奪われつつある中でこの奇蹟をいかにして遺すべきか。本書は、芸の中でそれを実現しようとするお笑い芸人太田光と、その方法論を歴史から引き出そうとする思想家中沢新一の熱い、一読に値する対論である。 ⑤小野忠良先生

- ① **平和に暮らす、戦争しない経済学：経済学的に平和を守る56の方法**
 ②森永卓郎 著 ③アスペクト
 ④「戦争しなくてすむ生き方をしたい」と著者は戦争を経済的に考えた。戦争は損なのか得なのか。戦争と経済はどこで、どう関係しているか。アメリカ、憲法、自衛隊、みんなまとめて経済学を通して平易に書かれている。憲法9条改正の是非を考える際に一読に値する好著である。 ⑤小野忠良先生

- ① **数学はインドのロープ魔術を解く：楽しさ本位の数学世界ガイド**
 ②デイヴィッド・アチェソン 著 伊藤文英 訳 ③早川書房
 ④サイエンスが好きなはずの岡山理科大学でも、数理系の科目はどちらかといえば不得意というタイプの学生さんが、近年増えてきたようです。そんな人たちには、『ハヤカワ文庫』の「数理を愉しむ」シリーズや、『ちくま学芸文庫』の「Math & Science」シリーズがおすすめ。まずは小手調べにコレ。 ⑤高崎浩幸先生

- ① **憲法九条を世界遺産に** ②太田光・中沢新一 著 ③集英社新書
 ④理系でも、自然科学だけ勉強していればいいわけではない。本当に必要なのは「人間力」である。それはどうしたら身につくのだろう。そのヒントがこの本にある。お笑い芸人のチャンピオンである太田光が、少ない言葉で大学教授を圧倒していく、そこに本当の人間力が見える本です。 ⑤鳥居雅之先生

- ① **緑の世界史 上・下** ②クライブ・ボンティング 著 石弘之、京都大学環境史研究会 訳
 ③朝日新聞社
 ④人類の歴史と地球との関係を、狩猟、農業、都市、工業、科学技術、思想・哲学など、幅広い観点から興味深く読ませてくれる書である。読後には今日の地球環境問題を理解することができ、また、人類文明のこれからのあり方を示唆してくれる書である。 ⑤井上堅太郎先生

- ① **昭和史：1926-1945 昭和史 戦後篇：1945-1989** ②半藤一利 著 ③平凡社
 ④「見事なヒストリーテラー」と、辻井喬氏が賞賛する筆者が、昭和史を知らない世代のための手ほどきの授業と称して話した30ストーリーをまとめた歴史書。日露戦争を昭和史のスタート点としての語り口は分かりやすく、戦争を知らない若い人たちにこそ、読んでもらいたい1冊。 ⑤木村邦彦先生

- ① **エコテック：21世紀の建築** ②キャサリン・スレッサー 著 難波和彦 訳
 ③鹿島出版会
 ④エコロジーとハイ・テクノロジーを結びつけた「エコテック」という名称で呼ばれる先端技術を駆使しエネルギー消費や都市環境などの問題を解決する世界の著名建築家の近作40点をそれぞれの建築的・技術的特徴を図面やドローイング、豊富な写真とともに紹介している。 ⑤西岡利晃先生

- ① **「建築学」の教科書** ②安藤 忠雄 他 共著 ③彰国社
 ④14人の建築家、建築史家、構造や構法、あるいはシックハウスの専門家などが、それぞれ立場から建築へ近づく糸口をエッセイ風につづっている。人を引きつける建築物の魅力が、それぞれの専門家の建築への情熱や日々の格闘のもとに実現されていることが感じられる一冊である。 ⑤唐苺先生